

ラテンアメリカとカリブ海諸国における がんの予防とコントロールを改善

ラテンアメリカとカリブ海諸国でのがんの発症増加を抑制し生命を救うため、PAHO財団とIFPMAは先駆的な連携を行っている。それは各国のがん政策の支援やより信頼性の高いデータ収集計画の策定だけでなく、女性の最大の死因—乳がん及び子宮頸がん—に対する予防対策を強化することを目的としている。



PAHO財団 IFPMA
PAHO財団とIFPMAは各国保健省、国際がん研究機関(IARC)のGlobal Initiative on Cancer Registration (GICR)、市民グループ、NGO及び女性たちのグループを支援している。



毎年アメリカ諸国で1.3百万人の人々ががんにより死亡している

そのうち女性の犠牲者が最も多いのは乳がんと子宮頸がんである。



多くのラテンアメリカ及びカリブ海諸国の医療システムには予防や早期発見のキャパシティ、効果的ながん政策構築のための高質なデータが不足している。そのうち女性の犠牲者が最も多いのは乳がんと子宮頸がんである。

毎年400,000人が新規発症

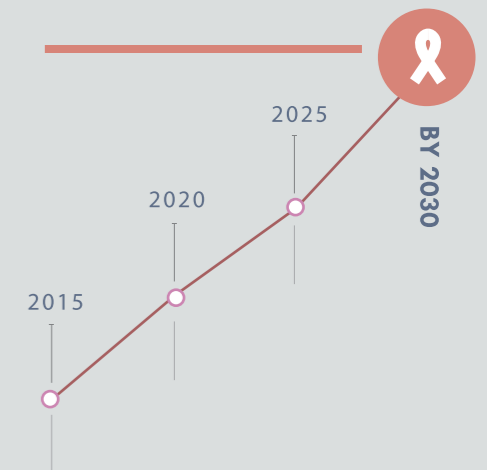
アメリカ諸国ではがんは死因の第2位を占め、毎年40万人の女性が乳がんまたは子宮頸がんと診断されている。

12万人の女性ががんにより死亡している。

92,000人が乳がんで

36,000人が子宮頸がんで

62% 推計では2030年までに女性のがん症例は62%増加するとみられている。



女性は高い確立で予防もしくは治療できるがんで苦しんでいる
予防と早期診断によりがんによる死亡者数を目覚しく減らすことができる



医療システムには効果的な各国がん政策を構築するための質の高いデータが不足している。
がん登録によりがんの負担を理解したり最も支援を必要とするところに資源を配分したりするための信頼できるデータが把握可能となる。

PAHO財団とIFPMAの連携は各国をこのように支援している:



乳がん、子宮がんの予防、検査、治療率を向上させようとする女性たちと医療従事者をエンパワーメント*するために。

*自分自身の力で問題や課題を解決していくことができる社会的技術や能力を獲得すること。

- 関心を高め、検査と早期発見サービスを求める女性たちを力づけるための教育的メッセージを広めること
- 検査の適用範囲と前がん期の治療率を改善するHPV (Human papillomavirus) テストを活用した戦略にフォーカスした既存の各国子宮頸がん検査プログラムを強化すること
- 乳がん及び子宮頸がんの早期発見における一次診療現場の医療従事者の能力を構築すること



がんデータの品質・完全性とがんコントロール計画の報告を改善するために

- がん登録手順の品質を向上させるために地域ごとのがん登録担当者の交流を通じたトレーニングコースと学習機会をすることによりがん登録制度を構築する
- がん患者データの品質保証、統計解析、およびがんレポートの提示、そしてがんのコントロール計画を情報提供した結果を広めることで各国を支援する